

「ウクライナ危機」と岸田文雄政権の行方

「インサイドライン」編集長 歳川隆雄

- * 岸田氏の安倍離れ
- * 劣勢をはね返す
- * 強力な首相秘書官
- * 外交安保担当も元次官
- * マネジメントを全て委任
- * キャッチコピーだけ
- * 見えた参院選圧勝
- * 外交の岸田示せるか
- * 劣化したロシア外務省
- * 中身ない「新しい資本主義」



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
今日は久しぶりに政局のお話を歳川さんにしていただくことになりました。去年もたしか連休直後にお招きしております。改めてご紹介の必要もないかもしれませんが、1947年のお生まれで、上智大学を中退された後、週刊誌の記者を経て独立され、現在インサイドラインの編集長ということで、当倶楽部でも長い間定期的に政局のお話で呼びしております。

大方の前評判を覆して岸田政権の支持率が今たいへん高くなっておりまして、どうやらこのまま参院選も乗り切るのでないかと言われております。そういった事情、それから政権内部の具体的なお話、あるいはウクライナ戦争の国際情勢、こころを改めて縦横無尽にお話をし

ていただけると思います。それでは歳川さんよろしくお願いいたします。

岸田氏の安倍離れ

歳川 皆さんこんにちは。（拍手）

当会は、今ご紹介にあずかりましたようにほぼ1年ぶりとなります。私は他方で『週刊東洋経済』で連載を持っておりますので、その紙面を通じて皆様私の考え、分析等の一端をお示ししているかと思えます。私は決して教養人ではありませんが、この間の『週刊東洋経済』では今年になってからの連載の記事の中で俳句と狂歌の引用をもってその節々のキーパーソンについて表現しました。その一つは、今控室でもマスの話が出ましたが、今年1月に書いた『週